

活動の流れ【R6】

4月	5月
----	----

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小単元名「福祉」とは？～様々な人に目を向けよう～ (20時間) 【小単元の目標】 世の中の様々な人々に目を向け、福祉について理解を深める 【課題設定】 ○世の中にはどんな人々がいるのか考える。 【情報収集】 ○障がいのある人たちなどについて、インターネットや本から情報収集をする。 【整理・分析】 ○障がいやバリアフリーについて調べた情報から考える。 【まとめ・表現】 ○分かったことを新聞やロイロノートを活用してまとめる。				小単元名：スポーツにはどんな工夫があるの？～パラスポーツを通して～ (30時間) 【小単元の目標】 様々な人のための生活の工夫について理解を深める。 【課題設定】 ○障害のある人でもできるパラスポーツの工夫にはどんなものがあるか考える。 【情報収集】 ○体験学習やインタビューを通して、パラスポーツの工夫や障害のある人たちについて知る。 【整理・分析】 ○交流会の内容を学習したことから選ぶ。 【まとめ・表現】 ○特別支援学校の児童と交流会を行う。				小単元名：みんなで一緒に生活していくためには？～パラスポーツを通して～ (20時間) 【小単元の目標】 様々な人が一緒にできるパラスポーツを考えよう 【課題設定】 ○これまでの体験活動や交流から、自分たちができることを考える。 【情報収集】 ○様々な立場の人が一緒にできるようなパラスポーツについて調べる。 【整理・分析】 ○栄小学校のみんなとやってみようパラスポーツを考え、実現させるために自分たちができることを考える 【まとめ・表現】 ○栄小学校の友達と交流する。		
【地域人材・関係機関】 明日チャレ、埼玉県障害者交流センター、新座市社会福祉協議会、和光特別支援学校										

活動の流れ【R7】(☆活用するシンキングツール・※横断する教科と単元名・◎考えられる表現の方法)

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
小単元名「福祉」とは？ ～様々な人に目を向けよう～(20時間) 【小単元の目標】 世の中の様々な人々に目を向け、福祉について理解を深める。 【課題設定】 ○世の中にはどんな人々がいるのか考える。 ※道徳「ええことをするのは、ええもんや！」 【情報収集】 ○障がいのある人たちなどについて、インターネットや本から情報収集をする。 【整理・分析】 ○障がいやバリアフリーについて調べた情報から考える。 【まとめ・表現】 ○分かったことを新聞やロイロノートを活用してまとめる。 ※国語「新聞を作ろう」 ◎新聞、パンフレット				小単元名：お互いのよさを発見！ ～地域の方との関わりの中で～(30時間) 【小単元の目標】 高齢者に目を向け、福祉について見方を広げる。 【課題設定】 ○地域の高齢者と関わり、互いのよさを見つける。 【情報収集】 ○体験学習やインタビューを通して、高齢者について知る。 【整理・分析】 ○得た情報を基に交流会を企画する。 ☆座標軸 【まとめ・表現】 ○高齢者との交流会を行う。 ※国語「もしものときにそなえよう」 ◎交流会				小単元名：仲間になろう！ ～手を取り合える地域を目指して～(20時間) 【小単元の目標】 高齢者との関わりの中で互いを認め合うことができる。 【課題設定】 ○これまでの体験活動や交流から、自分たちができることを考える。 【情報収集】 ○前回の交流会で良かった点と改善点を見つける。 ☆ベン図 【整理・分析】 ○より工夫できることを考え、交流会を企画する。 ◎交流会 【まとめ・表現】 ○高齢者との交流会パート②を行い、報告書にまとめる。 ◎レポート			
【地域人材・関係機関】 明日チャレ、和光特別支援学校、福祉の里障害者センター、福祉の里老人福祉センター、栄地区の高齢者の方々											
小単元①で目指す子供たちの姿 障害者の方との交流や資料を通じて、福祉について理解を深めたり、積極的に関わったりしようとしている。				小単元②で目指す子供たちの姿 高齢者の方との交流やインタビューを通じて、福祉について見方を広げたり、積極的に関わったりしようとしている。				小単元③で目指す子供たちの姿 仲間になるにはどうしたらよいか考え、意欲的に課題に取り組み、今後も関わろうとしている。			